

## 命を最大の価値基軸に

# 安全第一のJR東日本をつくらう！

2023年8月5日、東海道線・大船駅構内において、第9974E列車が走行中に電化柱と衝突する重大な事故が発生しました。運転士ならびに3名のお客さまが怪我をされ、9名のお客さまから気分が悪くなったと申告されています。8月6日8時に東海道線は全面運転再開しましたが、約15万人に影響しました。国土交通省関東運輸局からは、「乗客・乗務員が負傷する鉄道人身傷害事故を発生」「利用者に多大な影響を与えたことは誠に遺憾」とあるように、事態を重く見て「鉄道の安全・安定輸送の確保について（警告）」が発出されました。

最近、職場からは事故や事象が発生すると、会社は原因究明することなく個人の責任に切り縮め、責任追及の姿勢が見えるとの多くの声が上がっています。私たちは人間である以上、ミスをすることがあります。その様な時に、なぜミスをしてしまったのか原因を究明し、次のミスにつながらないようにしていくことが大切です。責任追及や懲罰ありきの教育・指導では、安全を守ることは出来ません。

JR東労組はこの間、経営のトッププライオリティである「安全」が、単なる掛け声になっていると言わざるを得ないと警鐘を鳴らしてきました。6月16日に発生した内房線上総湊～竹岡駅間における感電死亡事故から2ヶ月しか経っていないにも関わらず、連続して重大事故が発生していることを重く受け止めています。因みに翌日、ある経営幹部が職場訪問した際に、この事故に一切触れなかったことに対して疑問の声も上がっています。

したがって、本事故の徹底した原因究明をもとに真の対策を打ち立て、危機的な状況を乗り越え安全を守り抜くために、東労組本部は以下のとおり緊急に申し入れ団体交渉を行なっています。

1. 2023年8月5日に発生した東海道線大船駅構内における電化柱衝突事故の原因及び、緊急点検の結果を明らかにすること。また、早急な原因究明のもと対策を講じること。

全面ガラスが大破した当該列車

